

Specification

1Birch	
7BJ	5,793,100円
8BJ	COMINGS 800N
9BJ	6,745,000円
センターキャブ・3バルブ・アラクワ・LED (8,324,000円)	
エアロアシールド・ブレーキ (8,400円アップ)	



鮮烈な真紅のマシニングライン



WORK

tel.06-6746-2859 (西日本) tel.048-688-7555 (東日本) <http://www.work-wheels.co.jp>

WORK EMOTION T7R 紅

ワークエモーション ティーセブナル クレナイ



中央部をカブリと覆っているのが特徴。センターキャブは取付時、手裏のすべり防止にシグナルブラックをランテイングしている。



マシンングしたエンボス部分にレットクリアを色付け、真紅のカラーを演出。黒色のコンパラストは、発光効果、走り手際を高める。



バルブはブラックの標準装備。別売りの専属のレッドのホイール専用ホイールキャップも用意している。またセンターキャブ、ブレーキも含まれて、この19年組している。



クリミッドシルバー



アッシュドチタン



マッドカーボン



ホワイト

今回紹介した紅(クレナイ)の他に、T7Rは6/14組ランテイングしている。サイズと価格表は19センチ(T7R)は10.5J) ¥479,868円(¥579,340円) 12センチ(8.5J)は10.5J) ¥374,400円(¥471,568円)。センターキャブは別売 ¥324,000円。

「国産スポーツカーメーカーをイメージング」に挑んだシリーズがワークエモーション。見るからにスポーツテイムデザインはV1Pオーナータチの心も掴み、特に主要モデルであるC10種やC12Pを披露させた。セクシな姿を自ら示す。今回紹介するのは、シリーズ最新作のT7Rに追加ランテイングされたT7R 紅。クレナイ。最大の特徴は真紅のランで、イカつい風アースクのエンボス部分に赤く染め上げ、この車の通り、鮮やかなほど走りのムードを高めている。しかも、赤いラインは単なるベタ塗りではなく、わざとマシンングを施し、レッドクリアでマシニングをさらさらというこだわり。ゆたたくあてて「ワタマ」でなく、その感覚は「いい」。

だけあって、T7R 紅は機能性の高さもウリ。「WFI」という特別製法で開発し、高剛性と軽量化を両立させているのだ。デザインと製法。そして、色。T7R 紅は、その全てを存分に「ポーリーナ」たちから熱い視線を求めよう。常識圏でも、やはり、推させている。